

南 高 中
PTAだより

みなみ風

第41号

◇発行所◇
静岡県立清水南
高等学校・中部PTA◇編集人◇
PTA広報委員会ICTとA-L(アクティブラーニング)
を活用した授業実践

校長 合田 俊弘

本校は、今年度までの4年間、文部科学省と県教育委員会からICTを活用した授業を推進し、かつ先進の授業を発信する指定校に選ばれ、様々な取り組みを行ってきました。

具体的なICTの活用としては、モニター画面に題材を大写しにするだけでなく、iPadやスマートフォンと連動させて個々の意見を投稿・集約したり、プレゼンの評価とコメントを投稿して皆で共有したりしています。また、時には理科の実験をiPadに録画して、その実験を見たことのない人に説明するなどしてきました。こうした使い方は、ただICTを活用するだけでなく、そこにアクティブラーニングの手法や視点を取り入れて、生徒が主体的に授業に取り組める方法を考え、工夫して実行しているものです。

この取り組みは、指定校としての任期が終了した後にも全校を挙げて取り組んでいきます。

平成29年度 PTA会長 あいさつ

PTA会長 久保田 太輔

日頃はPTA活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。本年度PTA会長を務めさせて頂きました久保田と申します。保護者の皆様には、日頃からPTA活動にご尽力頂きまして感謝申し上げます。また校長先生をはじめ先生方、職員の皆様には、日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

子供達の学校環境向上のためには、先生方と保護者の繋がりを大切に、しっかりとPTA活動に取り組む事が必要だと思います。皆様の一層のご支援とご協力をお願いし皆様の積極的なご参加と、様々な機会に率直なご意見をお聞かせいただくことをお願いし、ご挨拶とさせていただきます。



専門委員長のあいさつ

教養専門委員長 太田 涼子

小雨でのスタートとなりましたが、42名の参加で清水を出発しました。早稲田大学では、本校OGの案内で効率よく見学が出来ました。昼食は神楽坂でのこじんまりとした料亭で、2グループに分かれ個室で落ち着いて頂きました。

テレビでも話題のサンシャイン水族館は、大混雑の中にもかかわらずスムーズに入場でき、非日常的な時間をそれぞれ楽しみました。他の学年の保護者の方とお話しできる機会があるのも、この旅行の魅力のひとつです。

教養専門副委員長 河田 百合子

Bコース料理教室報告書
十一月四日、今年も鈴木学園にて料理教室を開催しました。今回は、「中華」ということで海老のチリソース煮、油淋鶏、肉まんとおまん、杏仁豆腐の黒蜜がけの作り方を教えていただきました。参加者25名が四、五人のグループに分かれて協力しあって作り上げ、調理終了後は歓談しながらの試食も楽しめました。生地捏ねから作る肉まん、あんまは、形もほっこり、美味しさも格別でした。

生活指導専門委員長 瀧野 千津

本年度、生活委員長を務めさせて頂きました。生活委員会の活動内容は、年二回、六月と十二月に学校周辺の交差点各所に立ち、七時十五分から一時間を三十分間ずつ交代して交通指導を行いました。

実際に学校から指導場所まで歩いて移動しましたが、学校周辺は道が狭く自転車・自動車・歩行者が往来し危険な箇所が多いと感じました。また、指導後にアンケートを書くことで他の指導場所の様子を知ることができました。

普段慣れた道だからこそ、油断して思い掛けないことが起きるかもしれません。道路を通行する皆がお互いに譲り合える気持ちを持つことが危険を回避することに繋がると思います。日頃先生方や交通指導員の方々には、生徒の安全を見守って頂き深く感謝いたします。活動に参加して下さいました皆様、一年間ありがとうございます。

広報委員長 堀池 奈緒子

広報委員の仕事は、この「みなみ風」を発行することです。記事を決め、取材、構成、編集担当を決めた後、1年間活動していただきました。例年2回発行していた「みなみ風」を、今年度はカラーにして年1回の発行としました。

私自身、広報委員は初めてだったため、戸惑う事がたくさんありましたが、委員のみなさまのご協力のもと、無事に「みなみ風」を発行することができました。1年間本当にありがとうございました。

南陵祭ステージ

南陵祭一日目、マリナートにてステージ部門が行われました。

中等部一年生は、入学して二ヶ月とは思えないほど美しい合唱を聞かせてくれました。二年生は東京オリンピックに向け、和の要素を取り入れたショークワイヤーで楽しませてくれました。三年生のミュージカルでは、演出、演技、ダンス、衣装であつという間にアラビアンナイトの世界に引き込まれました。

グリーのようなミュージカルの英語部、さすがの演奏、歌唱力の音楽部。楽しい演出が盛りだくさんの管弦楽部。校長先生のご挨拶にあった「切り換えと集中を学ぶ」「自分たちがまず楽しむ」「お客様をもてなす」の3つが全て入った最高のステージでした。

(中2男子母)



南陵祭展示

気持ちの良い晴天となった南陵祭二日目。来場者が思い思いの場所にスタンプを押すことのできる参加型のオブジェが迎えてくれました。

校内でも、ワークシヨップや持てるシャボン玉作り、将棋の自由対局など、来場者が参加できる展示が多くありました。どの生徒さんも、来場者の方々と一緒にコミュニケーションを取っており、大変感心しました。

中庭では多くの観客を魅了したアートパフォーマンス。色とりどりのつなぎ姿でかつこ良いダンスを決めながら、キューブに数種類の作品を描き、組み合わせ、全体として一つの作品を造り上げる技術の高さに圧倒されました。生徒の皆さんの魅力いっぱい南陵祭。来年も期待しています。

(中2女子母)



台湾研修旅行



中等部三年生は、11月14日～17日に研修旅行で台湾に行ってきました。旅の準備も、荷物の準備には時間がかからず、この研修旅行のために新たに準備したものは、ワイシャツだけでした。

全部見きれないほど広い故宮博物館見学や、小籠包作り、地下鉄などの交通費などを15,000円のお小遣いからやりくりしての班行動など、子どもたちにとっては初めての体験ばかりでした。

高級中学校との学校交流の内容は、現地のテレビでも紹介され、日本でもYouTubeで見ることができました。

台湾の料理は、エビ料理が頻繁に出て、香辛料に慣れず、なかなか口に合わなかったようで、帰ってきてから家のごはんをおいしそうに食べていました。

普段は、学校での出来事などの会話も少ないのですが、研修旅行は、家庭での会話のきっかけになりました。

(中3男子母)

ハワイ研修旅行

「ガイドさんの話を聞いて、泣いちゃった。帰宅後、食事の支度をしている私の隣に来て娘はそう言いました。」

パールハーバーでの平和学習のこと。米軍の戦艦ミズリーもゼロ戦の特攻攻撃を受けました。この特攻隊員の亡骸は二分され、上半身は船体に残ったそうです。ミズリーの艦長は敵兵であるにも関わらず、この特攻隊員を水葬にして手厚く葬ったということです。この話を聞いて娘は涙が出たのだと話してくれました。

夏休み過ぎから「ハワイで着る服買って良い？靴買って良い？」と準備のためにお金が掛かったため、私たち夫婦は「高校生で海外は贅沢ではないか？」と疑問もありました。

しかし娘のこの話を聞いて、一番印象に残った事がこれであつた事に「ハワイに行つて良かったな」と思いました。「日本の上空をミサイルが飛んでいる。もしかしたら、戦争が始まってしまふのではないか？」そんな今だからこそ、未来を担う子供たちが再度平和の大切さ、人の命の尊さを学習できた事はとても貴重な体験だったと思います。

(高2女子母)



オープンキャンパス

『オープンキャンパス、保護者は行く？
行かない？』

いろいろな考え方があっていいと思いますが、オープンキャンパスというと「子どもが自分の志望校の雰囲気を感じて行くもの」「受験当日に迷わず到着できるための練習」だから保護者がわざわざついていく必要はない。二人で行けばお金はかかるし、とお考えの方が、南高の保護者にはすごく多い気がします。でも、子どもの志望校は、その学校がある街は、いずれ子どもが四年間という密な時間を過ごす可能性のある大事な場所です。学費と生活費だけでも何百万円も費やす、高い買い物でもあります。親として、受験生本人とは別の目線で見るべきものが、たくさんあると思います。例えば毎日お世話になるかもしれない学食のメニューや購買の品揃え、構内にあるキヤッシュデイスベンサーは何銀行か。PCTラブルに対応してくれるシステムはあるか(今の大学生は事務連絡から課題提出まで、全てPCです)。最寄駅やバス停はどこか、大きい駅までいくらかかるか。坂が多いか、自転車は使えそうか。一息つけるような場所が近所にあるか、便利な大型店舗は？スーパーマーケットは？不動産屋を覗けば、家賃の相場もわかります。この未知の空間を調べるチャンスは、あと二次試験の受験日と合格発表の日くらいしかありません。その後はもう引越します。合格後に何度も往復するより、事前に情報を把握しておいて、銀行口座開設や下宿探しに役立てる方が、時間もお金も節約できるという考え方もあると思います。

(高2女子母)

『憧れの地、京都で学ぶ』

京都は歴史文化の史跡が今なお息づいていながら、世界的に有名な先端企業が多くあることから、京都の土地に憧れて京都の大学を志望する学生が少なくないといえます。

夏と秋に京都に向かい、2つの大学のオープンキャンパスに行ってきました。

『京都大学』

京大の顔である百周年時計台記念館で、山極総長の講演・受験体験発表・応援団の演舞がありました。セレモニーでの熱いメッセージを受けた後、各学部の様々な企画に大勢の高校生が真剣に参加している様子が印象的でした。

『京都女子大学』

京都駅の東、三十三間堂や国立博物館に近接している京都女子大学。

「この学校に入



学して高校生を案内するのが夢だった。」と語る学生に案内されキャンパスへ。新設された「知恵の蔵」と称した図書館の蔵書は85万冊。地下一階地上四階につながる開放感のある吹き抜けの壁面に木製の書棚が壁一面にあり、休日には学習スペースで多くの学生が利用している姿を見て、この空間では探求心が尽きることは無いのだろうと思いました。また、挨拶をしてくれる学生が多く清水南に似た雰囲気を感じました。入試ガイダンス・ミニ講義を受講し、大学の学びを体験しました。

大学見学で、学生の学ぶ姿や教授の熱意、キャンパスや周辺環境を体感することが出来て、親にとっても有意義な体験でした。

(高1女子母)

体育祭

『思い出に残る体育祭』

前日までの雨が嘘のように晴れわたる、六年間の清水南での最後の体育祭はさわやかな秋晴れのもと行われました。1000m走、玉入れと続き、綱引き。男子生徒同士が綱を引っ張りあう姿はとても迫力があり、力強さを感じました。高校生ナンバリレー、中等部学級対抗リレーは手に汗握る接戦で、勢いのあ

る走りを見ることができ、大変楽しませてくれました。そして午前最後のダンス。高校生女子全員のダンスは毎年見ごたえがあります。約三百人の女子生徒がそろってダンスする姿にはとても感動しました。練習の成果を発揮して素晴らしいダンスを披露していました。

午後の部は部活対抗リレーから始まりました。文化部でのもんさんのお御輿はとてかわいらしかったです。運動部はラグビー部マネージャーの看板をもった生徒が担がれて走っている姿がとても面白かったです。

応援合戦はどのチームも良かったですが、特に各応援団長の姿がとても輝いていました。

最後の高校生男子による集団行動。初めて見ましたが、テニスや野球をスロモーションで再現する姿がなかなか良かったです。

六年間いろいろな競技で楽しませてくれた、ありがとうございます。卒業しても体育祭でがんばったことは良い思い出です。



出となることでしょう。

(高3女子母)

『先生可愛い♡』

赤・青・黄色の3色のTシャツに6色の短パン。各クラスの様々なデザインを胸に、総勢約800名が色鮮やかにグラウンドを彩り、秋晴れの空のもと今年も体育祭が始まりました。開会式から閉会式までずっと見られたのは今年が初めてでしたが、終始ドキドキ、ハラハラ、驚き、笑い、感動の連続でした。

一番ユニークだったのは、やはり毎年趣向を凝らした走りが楽しい部活対抗リレーでしょうか。美術部のモンさん御輿が走りだったり、ラグビー部は部員がバトンがわりだったりで、場内に笑いが溢れました。他にもカゴが逃げる玉入れでは、カゴ役の生徒さんが痛そうに思わす笑ってしまったり、普段とはひと味違う先生の走りを見られる学級別リレーでは、「先生可愛い♡♡」と生徒からの愛ある声援も聞こえてきました。また、長い曲目を踊りきった高校女子。見事でした。踊りの得意な人、苦手な人といったでしょう。それでも全員が笑顔で懸命に踊る姿には心を打たれました。全学年、毎朝早くから集まって練習した「みんなでジャンプ」、高校男子の集団行動。どうか、どうか上手く行きますようにと手に汗握り、祈る保護者の姿も印象的でした。

今まで練習してきた成果と、皆でチームを応援する団結力、そしてはじける笑顔がたくさん見られた一日でした。この経験は生徒にとっても保護者にとってもきっと宝になります。ありがとうございます。

(中2男子母)

体育祭 クラスTシャツ 紹介

中等部



★9月30日に行われた体育祭で
着用していた各クラスの
Tシャツデザインを
集めてみました★



中等部 2-A

中等部 2-B

高校



高校 3-3



七月十四日、静岡のA O Iホールにて、清水南高等学校芸術科音楽専攻十九名によるサマーコンサートが行われました。今年も日頃の練習の成果を生き生きと、そして堂々と発揮しつつ、大勢のお客様が見守る中、緊張感に包まれながらも自分たちの力を出し切った演奏会になったと思います。

日頃の授業では音楽科ならではの主科レッスンを取り入れて頂き、オーブンスクールや校内演奏会などで演奏経験を重ね、技術を着実に身に付けているのだなと感じました。

そして支えて下さった先生方、保護者の皆様、裏方で頑張ってくれた一、二年生、周囲の方々の熱い応援を感じます。

これからは、それぞれの夢に向かい、さらなる飛躍する力と共に一歩ずつ、歩んでいって下さい。

一月の卒業演奏会も楽しみです。

(高2女子母)

芸術科サマーコンサート